

山岳友の会会報

2021年4月 第40号



西穂と前穂、明神 撮影：荻野 秀夫

も く じ

第50回現地研修会（西穂山荘）	報告 1 澤田 義幸	2
	報告 2 横田耕太郎	4
川柳せんコロナ禍と蓼科日記	小林 久雄	5
2021年度通常総会	報告 小林 久雄	6
2021年度通常総会資料		7
おしらせ		12

第 50 回現地研修会『西穂山荘 春を待ち望む雪山』報告 その1

澤田 義幸

期日：令和3年(2021)3月10日(水)・11日(木) 参加者10名

快晴の天候に恵まれた2日間でした。日頃の行いの良い人たち？が集まったことと思います。

コロナ禍の緊急事態宣言の影響で当初計画した3月3日・4日を緊急事態宣言期間後の7日以降に期日変更し実施となった。その後岐阜県は非常事態宣言が予定より早く解除され3月1日から新穂高ロープウェイの運行が再開され、西穂山荘もロープウェイに合わせて営業再開。

第一日目 3月10日(水)

王滝村8時発、10時40分新穂高ロープウェイ(1100m)着。すでに松本からの面々は到着しており準備万端で私たちを待っていました。途中道路工事の信号待ちや駐車場からロープウェイまでの距離もあり、予定していた11時発のロープウェイに間に合わず、30分遅れの11時30分乗車となってしまいました。私が遅れたために皆さんの貴重な30分を費やしてしまい大変申し訳ありませんでした。ごめんなさい！！

今回の研修会講師兼ガイドは会員で西穂山荘の粟沢さんに行っていました。

11:55 山頂駅(2150m)着。約 2mの雪壁の道を 100m程進み広くなったところでアイゼン装着。記念写真撮影。登り降りしながら進む。雪で覆われたコメツガの雪ダルとすれ違う。13:25 急登を登り終え西穂山荘(2360m)へ到着。

12:33 西穂山荘食堂、早速ビール等で乾杯。その後名物の西穂ラーメンを食する。腹ごしらえを済ませ丸山へ向けて出発。

14:19 丸山(2452m)着記念撮影。笠ヶ岳方面の眺望が素晴らしい。

14:50 西穂山荘着、本館の部屋へ入る。

15:30 食堂にて情報交換会が始まる。テーブルは個々にアクリル板で間仕切りされている。特注品で結構な費用がかかったそうです。ビール、ワイン、酒(大雪渓他)で乾杯、サーモン等が付いた特製おつまみセットに感激。粟沢さんの知人でテント泊の落合さんも一緒に加わり情報交換。



12:05 アイゼンを着け準備OK さあ出発



雪ダルマにあいさつをされる竹原さん



13:25 西穂山荘到着 前に行くのは竹原さん



名物 西穂山荘ラーメン



西穂 丸山にて



西穂山荘前 雪だるまと遊ぶ



食堂 アクリル板で仕切られたテーブル
横田さん、鈴木先生、立花さん



白山に沈む夕陽を撮影する鈴木先生



ドローンで撮影された西穂山荘周辺画像を視聴する

16:38 ほろ酔いで落合さんのスクワット講習となる。ゆっくりとひざを曲げお尻を落としひざが直角になったらゆっくり上げるの繰り返し…運動不足の太ももが持たない。

17:00 西穂山荘周辺をドローンで撮影された映像を栗沢さんの説明を聞きながら視聴する。滝雲の映像に一同感激。栗沢さんの西穂への登攀を撮影した映像も素晴らしいものでした。

17:45 夕陽を見に外へ、加賀白山の北に沈む夕陽が印象的でした。

18:30 夕食？ 宴会？ 二次会？ 沢山いただきました。

○×？時 消灯 部屋の前でウイスキーを久雄さん、栗沢さんといただく。一晩中ファンヒーターが点いており冬山とは思えない快適な夜を過ごすことができました。通年営業のため水の凍結防止のためにストーブを点けているとのこと灯油代等維持管理費が大変だなあ～と感じました。宿泊の部屋はコロナ対策のため4人部屋を段ボールで仕切り3人用部屋となっていました。

第二日目 3月11日(木)

6:30 朝食 7:30 丸山発 8:32 独標(2701m)着 途中鈴木先生とつづら折りの登り始めで別れる。独標手前の尾根で横田さん下山。最後の急登を登りきると独標でした。独標には立花さん栗沢さん落合さんと先客の赤いウエアの方と私でした。山荘を出てから写真も撮らずにひたすら登りました。ようやくたどり着き展望に感激です。

2014年以来の久し振りの冬山で近年腰痛(脊柱管狭窄症)に悩まされ登れるか不安がありました。思ったより腰の調子がよくなると登ることができました。

8:38 栗沢さんのガイドで下山開始。無事難所を降りることができ栗沢さんに感謝です。途中で振り返り独標を見て「よく登ったな～」と一人で感心しました。

9:10 丸山経過 9:25 西穂山荘着 9:35 西穂山荘発

10:30 ロープウェイ到着、乗車。

10:45 ロープウェイ内で写真撮影「槍ヶ嶽が傾いているのかよくわかる」などの話をしながら11時過ぎ山麓へ到着。

11:30 栗沢さんのおすすめの奥飛騨温泉郷のうなぎ屋さん「うな亭」で昼食(当初は豚チャン屋さんでしたが定休日)。栗沢さんお奨めの中井大盛りにしたらボリュームがあり驚きました。飛騨山椒をふりかけ「街ではこの値段では食べられない」などと話しながらいただきました。

昼食後解散となりました。途中平湯で民俗資料館と温泉に入り帰路につきました。



落合さんのスクワット講習



特製おつまみセット



夕食(魚のフライ、ハンバーグなど)



朝食

栗沢さんにはお忙しい中、二日間ガイドとおもてなしをしていただき大変ありがとうございました。西穂山荘スタッフのみなさんもありありがとうございました。楽しい研修となりました。



独標に立つ立花さん 標柱の奥は笠ヶ岳方面



下降する立花さん、その下で栗沢さんがサポート 奥の山は乗鞍



新穂高ロープウェイ内で写真撮影 天候がよく眺望が素晴らしい



奥飛騨温泉郷名物 うな亭のうなぎ丼
中井大盛りときもの吸い物

絶好の天气に恵まれた二日間 一第 50 回現地研修会（西穂山荘）報告 その2ー

横田耕太郎

コロナに翻弄された 1 年。美ヶ原が中止になり、ロープウェイも運休になり開催が危ぶまれましたが、予定を1週間先送りにして計画、栗澤さんを含めた 10 名で無事実施できた事が今回、何よりも嬉しく思います。

初日、3 月 10 日は新穂高ロープウェイの乗り場に 11 時集合でしたが、せっかちグループは早々に到着して集合時間通りにやってくる木曾組を待ちます。なかなか現れず結局 11 時のロープウェイには乗れずでした。

急ぐ旅ではなし、それでも 12 時前には雪の上を歩き始める事ができました。本日の目的地は西穂山荘。いやいや、丸山でしょ。ラーメンが先だ、ビールも飲みたい。アイゼンを外するのは面倒だ。そんな事を考えながら、栗澤さんの説明を聞きながら歩みを進めます。歩く事 1 時間ほど、最後の急登から間もなく山荘の屋根が見えてきました。

丸山まで行って帰ってくるとラーメンが食べられない。お腹も減りましたし、まずラーメンとビール 500mL でエネルギーをチャ



夕焼け

一ジしてから出発する事にしました。少し雲が増えてきたものの風もさほど強くなく丸山からのパノラマに癒されました。



独 標

山荘の中に入り、落ちついてから恒例？のご苦労さん会は、個々の席がアクリル板に仕切られた食堂でソーシャルディスタンスをとりながら”静かに？”始まりました。用意していただいたつまみもお洒落です。しばらく歓談の後、四季の動画も見せていただきました。日没をはさんで夕食となり、山小屋時間で布団にもぐりました。

二日目、早起きの自分は丸山の少し手前まで往復してきました。朝食の時間もあるので日の出までは見れずでした。思ったほど焼けずでしたが、この時間

帯は気持ちがいいですね。

朝食後の行動はさてどうしましょう？明け方は少しあった風もなくなり、絶好の登山日和です。結局、各々の希望となり、元気な立花さんは独標を目指し早々にスタートしていきます。

自分は今回は独標の見えるところまでで U ターンしましたが、他に澤田さんが独標まで、そして栗澤さんが落合さんという方を案内しながら、独標まで往復し、後のメンバーは丸山周辺まででのんびりと過ごしたようです。そんなのんびり過ごしても寒くない、春の装いを感じさせる西穂山荘でした。

お昼前には新穂高に下山し、栗澤さんおすすめのとんちゃんのお店はお休みでしたが、代わりにリーズナブルなうなぎ屋でランチした後解散しました。

2020年の山岳友の会を締めくくる楽しい山行をありがとうございました。



西穂山荘

川柳せんコロナ禍と蓼科日記

小林 久雄

コロナ感染拡大がなかなか手強いですね。様々な中止が余儀なくされていますが....難局を乗り越えたいと思います。

何もかもあり得ないって感じデスね。そこで コロナ禍の川柳を一首

♪ 『 アに濁点 Wア〜と続けて また中止 』 ♪

令和の幕開けは再びの東京五輪 震災からの復興とか....様々な夢に進むはずが....コロナ禍、時代の転換。

一年が過ぎて....これはやっぱり普通じゃ無いゾ。時代の転機らしい。

60年代にレイチェル・カーソンが『沈黙の春』『センス・オブ・ワンダー』を発表、その世界を顧みて、今年念願の「乳岩狭」新城や「蓼科山」にも行けた。

ワクチンは6月にならないと無理そうだけど....さてGW 涸沢は???そろそろ 春が始動の気配ですなぁ....

♪ 『 春雨に 目閉じ夢見る 薫風 』 ひさお

さてさて、西穂高登山がコロナ感染拡大で延期になったので....3 並びの令和 3 年 3 月 3 日ひな祭りに念願の蓼科山に出掛けました。

【蓼科日記】

ようやく朝を迎えたロープウェイ駅を右に過ぎる頃、昨夜の雪が白く残る道は未だに通った車の跡もなく、今栗鼠が一匹行き過ぎる静かさだ。

大河原の登山口を通過してすずらん峠の駐車場に車は到着したが、1台の車も止まっていない。ゆっくりと登山の支度にとりかかり、煙草に火をともした。『忘れ物は大丈夫かい?』と今日の同行者に声をかけた。

少し車道を戻り、登山口に入る。勿論、先行者のトレースは無い。落葉松の林の中、熊笹の頭が少し見える道を進む。昨日、雨が雪に変わった登山道は少し滑るが、アイゼンをつけずに急登をゆっくり登る。風も無く手先の冷たさが登りでジンジンと温かくなり始めた頃に、大きな杉の木の下で一旦登りはゆるやかになり、息を整えつつ仰ぎ見ると蓼科山が木々の間に少しだけ現れた。



大き目の岩が時々見え出して、またまた急な勾配の登りに差し掛かるので、無理せずにアイゼンを着けた。アキレス腱が伸ばされる急な登りが更に続く。気持の良い長い登りもようやく緩やかになるので、登り始めて一時間半で1本休息をする。

幸徳平 2010m の立て札が見えた。さあ、ここからがメインの登りのスタートだ。途中で一度の休憩をしながら核心部の急な登りに一時間少しあえぐと、眺望もひらけて大きな岩。

風も強くなってきた、足元の鎖を見ながら眼前に蓼科山荘が見えてきた。山頂は近い。

広大な山頂の火山火口、わずかな高みの山頂の向こうに蓼科奥社の鳥居が見える。山頂は大きな火山の火口に岩がびっしりだ。北からの強い風が冷たいし寒い。展望は360度だが富士山は南八ヶ岳に隠れて見えない。憧れの蓼科山についに登れた瞬間だった。

2021 年度通常総会報告

小林 久雄

好天にも恵まれ満開のサクラの中2021年の友の会総会が3日駅前会館で、横田議長の計らいで無事に終了しました。



コロナ禍でいまだに不透明感が有りますが頑張りましょう。

11 年を迎えて活動記録写真展や T シャツ作成等にも取り組みますので、ご協力よろしくお願いたします。

【写真：荻野 秀夫】

次に総会資料を添付します。

なお、監査により、収支決算について適正に処理が行われていることが確認されました。

〈2021 年度通常総会資料〉

2020 年度友の会事業報告

設立 10 年目となる 2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や延期となった事業がいくつかありましたが、状況を見極めながら可能な限り事業を開催しました。以下、主な事業について報告します。

○総会

通常総会 4 月 4 日(土) 松本市駅前会館 25 名参加 (委任状 58 通)

○運営委員会

第 15 回運営委員会 3 月 27 日(土) やそじ 10 名参加

○憧憬の森講演会

第 17 回憧憬の森講演会 4 月 4 日(土) 松本駅前会館 25 名参加

「ボルネオ島熱帯雨林で繰り広げられるタネを食べる昆虫と食べられたくない樹木の攻防」

講師：浅野 郁氏 (信州大学・全学教育機構)

第 18 回憧憬の森講演会 11 月 28 日(土) 松本駅前会館 22 名参加

「南極観測隊の生活と環境保全」 講師：鈴木 啓助氏 (本会会員)

○現地研修会

第 47 回現地研修会 7 月 15 日－17 日 「尾瀬ヶ原と至仏山」 14 名参加

第 48 回現地研修会 9 月 9 日 「黒斑山登山」 9 名参加 ※明神で大人キャンプは中止

第 49 回現地研修会 1 月 20 日－21 日 「美ヶ原高原冬空満喫ツアー」 中止・次年度開催予定

第 50 回現地研修会 3 月 10 日－11 日 「西穂山荘 春待ち望む雪山」 10 名参加

○会員集会 11 月 28 日(土) 松本駅前会館 22 名参加

○第 26 回上高地談話会 (第 9 回涸沢談話会) 延期

○会報の発行 3 回発行 (4 月 16 日、9 月 23 日、1 月 13 日)

○上高地ステーションの整備 延期

2021 年度信州大学山岳友の会事業計画

基本方針

友の会は設立 11 年目を迎えますが、次の基本事項に基づき事業を計画します。

1. 信州大学の山岳研究（信州山の環境研究センター）を支援します。
2. 会員相互の親睦と、心を豊かにする講座・研修会並びに講演会を開催します。
3. 大学と市民を結ぶ取り組みを考えます。
4. 会員を増やし、会の活動を充実します。
5. 会報は、会員の協力をいただき 4 回発行します。

事業計画（案）

期 日	内容等	対象者	備考（場所等）
4 月 3 日(土)	通常総会	会員	松本市駅前会館
5 月 15 日(土)～ 5 月 16 日(日)	第 51 回現地研修会 「瀬戸川美林を訪ねる」	会員	立花シェフの夕食 おが山荘泊
7 月 1 日(木)～ 7 月 2 日(金)	第 26 回上高地談話会(第 9 回涸沢談話会) 「山に降る雪はどうなるのだろうか」 鈴木啓助会員	会員他	涸沢ヒュッテ
8 月 25 日(水)～ 8 月 27 日(金)	第 52 回現地研修 「熊野古道を歩く」	会員	未定
10 月 19 日(火)～ 10 月 20 日(水)	第 53 回現地研修会 「紅葉の秋山郷と苗場山」	会員	苗場荘泊
12 月 4 日(土)	憧憬の森講演会 「未定」	会員	松本駅前会館
1 月 19 日(水)～ 1 月 20 日(木)	第 54 回現地研修会 「美ヶ原高原冬空満喫ツアー」	会員	王が頭ホテル
2 月 16 日(水)～ 2 月 17 日(木)	第 55 回現地研修会 「天城峠を歩く伊豆半島」	会員	未定
3 月 6 日 (日)	第 56 回現地研修会 「甲州乾徳山」	会員	日帰り登山

☆ 友の会設立 10 年を記念するグッズや写真集などの出版を運営委員会・事務局で検討します。

2021年度 友の会 収支予算

収入の部

(円)

科 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減	備 考
繰越金	454,978	272,748	182,230	前年度繰越金
会費	342,000	366,000	△ 24,000	正 会 員:79名 237,000 家族会員:1家族 5,000 賛助会員:10口 100,000
事業参加費	1,627,500	638,500	989,000	
雑収入	0	1,000	△ 1,000	
計	2,424,478	1,278,248	1,146,230	

支出の部

管理費	130,000	53,415	76,585	メール便等 80,000 消耗品費 50,000
事業費	1,627,500	748,180	879,320	
会議費	20,000	10,795	9,205	総会 10,000 講演会 10,000
雑費	646,978	10,880	636,098	
計	2,424,478	823,270	1,601,208	

友の会役員(2021-22年度)

会長	山口 孝
副会長	熊谷 久
	竹原 文子
運営委員長	小林 久雄
運営委員	栗澤 徹
	奥原 仁作
	小林 実
	佐々木 明彦
	澤田 義幸
	島村 芳太郎
	立花 裕美子
	中村 秋男
	細萱 繁
	松田 俊雄
	渡邊 修
監事	藤澤 高穂
	山田 直
顧問	青柳 薫
	小林 銀一
参与	市川 荘一
	高橋 和之

事務局からのお願い

FAX 宛名をご記入ください

◆FAX：0263-37-2438

FAX で友の会事務局宛てにメッセージをお送りいただく際は「**山岳友の会宛**」と記載の上、送信していただきますようお願いいたします。

信州大学山岳友の会会報 第40号
発行日：2021年4月12日
発行：信州大学山岳友の会
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
信州大学山岳友の会事務局
TEL：0263-37-3332
FAX：0263-37-2438
E-mail：suims@shinshu-u.ac.jp